



# 龍源寺報

87号

龍源寺伽藍屋根普請

## 無事終了

令和五年五月中旬より始まった龍源寺伽藍屋根の工事ですが、十月上旬をもって無事終了となりました。工事中は大きな事故もなく、人的な被害は一切ないままの終了となったことが何よりのことでした。

先号でお伝えした通り、物価上昇による大幅な工費の上昇ということで苦慮する場面もございましたが、予定通りに普請ができたことを喜ばしく思っております。お寺に限らずこの物価上昇により予算が立てられず、工事を再検討しなければいけないところもあるということ、そういった意味でも工事が出来たこと自体がよかったです。

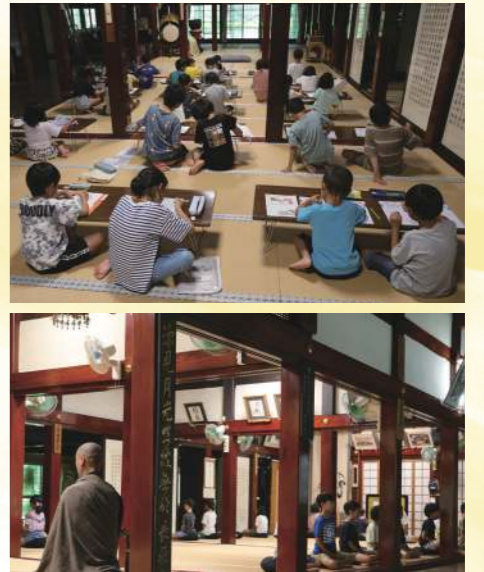
また、ほとんどの檀信徒が本堂を使用しての葬儀や法事という状況の中、お寺を利用する方々には大変なご不便をおかけしました。葬儀のために工事の中断ということもございませんでしたので、あらためて工事へのご理解とご協力の賜物と感謝しております。

ステンレス素材となった屋根は今後五十年以上、龍源寺の伽藍を豪雪から護り続けてくれると思います。この度の工事は檀信徒以外の御寺院や知人縁者からも御寄付や御見舞いを頂戴しました。現在、本堂にこの屋根普請の寄付単の作成を計画しております。次世代からその時代時代の人々がお寺を護ってきたのだということを感じてもらえるものとなるでしょう。

工事に関係したすべての人々にあらためて感謝を申し上げます。ありがとうございました。



剣道の子どもたちと坐禅



tapの子ども達と坐禅



**境内、倒木被害**

令和四年末、龍源寺歴代住職墓地にて倒木被害がございました。これを受けて屋根工事の最中、境内にて倒木の可能性のある杉の木を伐採致しました。

周辺住民に危害がなかったのは幸いでしたが、引き続き境内の護持に努めていきたいと考えております。



鍵和田家、七五三



**赤山義塾現地学習に  
上越ケーブルテレビ来寺**

毎年恒例、十日町市川治小学校六年生が龍源寺で学ぶ赤山義塾の現地学習に今年は上越市のケーブルテレビさんが来寺されました。当時赤山義塾でも教えられていたであろう「学び」と「行い」の一致を少しでも感じてもらえたらと思いつながら学びの場をつとめさせていただきました。

編集発行  
龍源寺  
曹洞宗 深見山  
〒949-8311  
新潟県中魚沼郡津南町  
中深見乙1118番地  
☎(025)765-3055



【公式HP】<http://www.shinkenzan.com>



【公式Instagram】@shinkenzan1582







大龍院さま、御開山四五〇回忌・晋山結制随喜



龍源寺伽藍屋根落慶大般若祈祷会、並びに鼓司による和太鼓演奏開催のご案内

令和六年六月九日(日)に龍源寺伽藍屋根落慶大般若祈祷会を厳修します。合わせ、三重県曹洞宗青年会をお招きし、和太鼓集団「鼓司」による和太鼓の演奏を計画しております。総勢七〜八名による圧巻の演奏が期待されます。この度の工事完了は龍源寺檀信徒にとっての大きな慶事でございます。皆様と共に工事の無事完了を祝したいと考えております。

合わせ、全国曹洞宗青年会にて企画された映画「典座「FENZO」主演の三重県曹洞宗四天王寺御住職・倉島隆行老師をお迎えしての講演会も企画しております。

檀信徒の皆様大勢の参加をお待ちしております。



和太鼓集団「鼓司」公式サイト

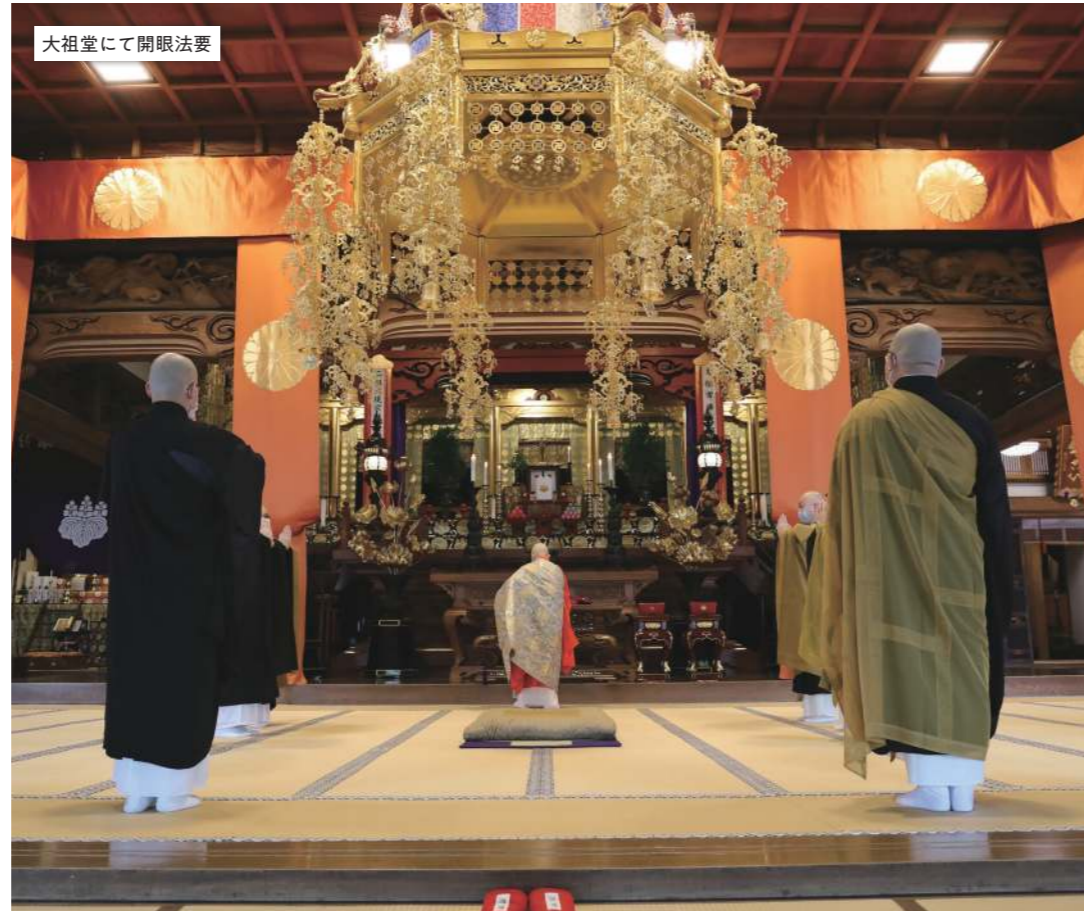
令和五年十月二十二日・二十二日、龍源寺の隣寺である大龍院さまにて御開山さまの四五〇回忌並びに大龍院二十二世大聖和貴大和尚さまの晋山結制に龍源寺三世代にて随喜して参りました。大龍院さまにとっては二世代の大法要であったわけですが、龍源寺住職は総都管という法要全体を取り仕切る役を、龍源寺副住職は知殿という法要の裏方の責任者を、副住職長男龍禪沙弥は昨年の円通寺さまに引き継ぎ弁事という首座和尚にお付きの役をそれぞれ勤めて参りました。龍禪沙弥におきましては首座法戦式にて大きな声で堂々と勤めることができました。

大龍院さまは龍源寺より二十年以上前に開創されたお寺で、龍源寺開創以来、四四〇年以上のお付き合いです。この度、檀信徒が一丸となつて大事な法要が勤まったこと、あらためて祝意を示したいと思います。





總持寺祖院香積台



大祖堂にて開眼法要



總持寺祖院山門



大本山總持寺祖院にて、龍源寺二十二世重興大嶽豊成大和尚入祖堂建牌

令和五年六月十四日、石川県は能登半島にある大本山總持寺祖院にて龍源寺二十二世重興・大嶽豊成大和尚入祖堂のため、位牌の開眼法要が勤まりました。先代三回忌の折、龍源寺住職が横浜市鶴見区の大本山總持寺御征忌において焼香師を勤める際、現在の貫首・石附周行大禪師猊下導師のもと、入祖堂における位牌の開眼法要が勤まりましたが、今回で大本山總持寺と大本山總持寺祖院の両方に先代住職の位牌が安置されたこととなりました。先代住職は總持寺祖院にて修行した因縁からこの度のことは計画されました。本堂である大祖堂に安置されていますので皆様、足を運ぶ機会がありましたら手を合わせていただけたら幸いです。

合わせ、曹洞宗大本山永平寺と富山県国宝第一号である曹洞宗瑞龍寺も参拝致しました。北陸の曹洞宗の名刹を参拝する良き旅となりました。

瑞龍寺

永平寺



仏殿



唐門



中雀門



法堂 (国宝)



山門 (国宝)



仏殿 (国宝)



### 龍源寺と龍昌寺について

現在、龍源寺副住職が会長を勤めている曹洞宗新潟県第一宗務所第八教区青年僧侶の会にて、会長任期中の特別事業として『越後妻有ふさとのお寺』という冊子を鋭意作成中です。妻有地域内に三十一ある曹洞宗寺院の紹介を中心とした内容となっておりますが、その中で副住職は龍源寺と龍源寺末寺・龍昌寺様の文章を作成しました。檀信徒の皆様にも理解いただきたい内容となっておりますので、ここに掲載させていただきます。



深見山 龍源寺



大澤山 龍昌寺

### 深見山龍源寺

津南町船山集落にある深見山龍源寺は開創天正十年（一五八二）、一説に天正十五年（一五八七）。天正十年といえは、かの有名な本能寺の変があつた年である。

上越市浦川原区顕聖寺の僧侶がこの地方へ新たな寺院建立のため訪ねたところ、すでに現在龍源寺の隣寺である大龍院があつた。縁がなさそうだと頸城の方へ帰る途上、現在の龍源寺開基檀徒である桑原氏の先祖に、「私の土地を提供するから是非お寺を始めてほしい」と懇願され、龍源寺は開創された。桑原氏の口伝によると、この時の僧侶が青紫の頭巾をかぶっていたということである。龍源寺本寺・顕聖寺御開山である快庵妙慶大和尚には、自分の被つていた青頭巾を鬼に被せ、『証道歌』の句によつて鬼を成仏させたという逸話が伝わっており（江戸時代後期の読本『雨月物語』内に著されている『青頭巾』）、顕聖寺門下の僧侶が青頭巾を用いていたという特徴が龍源寺開基の口伝と合

わせて鑑みると大変興味深い。

現在の庫裡は正徳元年（一七二二）建築の三百年を超える木造古建築で、現在も囲炉裏を焚くなど往時の様相が見てとれる。本堂は一度火災によつて半焼したと伝わっており、現在のものは明和五年（一七七七）に再建されたもので、二百五十年を超えるものである。四四〇年ほどの歴史の中で特筆すべき点は、安政三年（一八五二）より明治三年（一八七〇）まで開講されていた赤山義塾の存在である。長岡藩より故あつて脱藩して秋山郷に逃れていた文武両道の才人・高橋赤山氏を迎え開講されたこの塾からは、明治維新後の国や地域の発展に貢献した数多くの逸材を排出した。明治曹洞宗を代表する僧侶の一人である星見天海老師、経済人・福島甲子三氏、国会議員・桑原重正氏、県会議員・島田茂氏など錚々たる顔ぶれである。

他、『北越雪譜』の著者・鈴木牧之による『秋山記行』にも秘境・秋山郷の住人の菩提寺として龍源寺の名前が登場している。

### 大澤山龍昌寺

津南町芦ヶ崎集落にある大澤山龍昌寺は、開創慶長十二年（一六〇七）、一説に慶長十四年（一六〇九）。慶長八年に徳川家康が征夷大將軍に任命、慶長十九年には大坂冬の陣が開戦されたが、その間の頃に開創された寺院ということになる。

津南町船山集落にある深見山龍源寺が本寺であるが、龍昌寺開創の謂れは不明。龍昌寺御開山と二世が龍源寺の二世と三世であることから、龍源寺の隠寮（隠居寺）として始まったのではないかというのが一つの理由として考えられるようである。

今までに二度、龍昌寺七世と十四世の時代に伽藍が建て替えられている。そのつど芦ヶ崎村内で建地地が変わり、今の場所にある現在の伽藍は弘化元年（一八四四）に庫裡、弘化二年（一八四五）に本堂が建立された。

ちようどこの頃に、後に龍源寺で赤山義塾を開講する高橋赤山氏に秋山郷で出会い、新しく建立された龍昌寺に住ませた。その部屋は現在でも「先生部屋」と呼ばれ、「廬龍窟」という部屋名が残っている。龍源寺には「先生屋敷」と呼ばれる地名が残っているが、ともに高橋赤山氏の足跡を窺わせる事例である。

明治元年（一八六八）、戊辰戦争の最中、官軍が善光寺街道を進軍。芦ヶ崎村にあつた宿を利用。しかし食糧難の状態。折しも龍昌寺では十五世住職の結制修行中で食糧が龍昌寺に集まっていたということ官軍に差し出す羽目になったという話が伝わっている。その修行には星見天海老師も随行長という役で随喜された。

また、龍昌寺所蔵の涅槃図は、津南町相吉集落にあつた谷口山相慶寺という寺院が安永三年（一七七四）に廃寺になった際に龍昌寺へと寄進されたもので、そのご本尊は津南町大井平集落の善福寺に納められたと言われている。